

トップメッセージ

創業70周年にあたる2020年に向かって、 3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」を推進



代表取締役社長

中島喜勝

北興化学工業は、化学メーカーとして1950年2月27日に創立いたしました。以来、農業とファインケミカル製品の製造・販売を主な事業内容として、着実に発展を遂げてまいりました。農業事業では、「種子から収穫まで護るホクコー農業」をモットーに、創立以来常に安全で優れた品質の農業を製造販売し、日本国内はもとより海外でも広く、農作物の安定供給を支えています。一方、ファインケミカル事業では、グリニャール反応をキーテクノロジーとして有機触媒、電子材料原料、医薬品中間体などの数多くのファインケミカル製品を開発し、産業社会に幅広く貢献しております。

当社グループは、長期的な成長イメージとして近い将来に目指す企業規模のターゲットを売上高500億円、経常利益50億円と定め、その実現の第一歩となる2018年度(2017年12月～2018年11月)から始まる3カ年経営計画「HOKKO Growing Plan 2020」をスタートさせました。

その初年度となる2018年度は、売上高は計画に届きませんでした。経常利益は計画を上回る結果となりました。当期純利益においては、2018年度まで5期連続での最高益を更新しており、それに伴い自己資本比率も着実に向上させることができました。今後も「HOKKO Growing Plan 2020」の3つの基本方針「(1) 既存事業の収益基盤強化」「(2) 事業分野・領域の拡張」「(3) 健全な財務体質の維持」に沿った戦略を遂行することにより、当社の創業70周年にあたる2020年度に向けて、しっかりと成長軌道を描いてまいります。

そして、この成長を長きにわたり継続していくためには、「コーポレート・ガバナンス」および「レスポンシブル・ケア活動」の充実が欠かせません。

当社グループは、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図るためには、ステークホルダーとの協働や高いコンプライアンス意識の維持が重要であるとの認識に立ち、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでおります。

また、化学企業においては、「安全」と「環境」が製品の開発から製造、物流、使用、廃棄に至るすべての過程において確保されていることが必要です。当社グループでは、化学産業の自主的な活動であるレスポンシブル・ケア活動の実践を通じて、「環境・安全・健康」の継続的改善を進めております。

ステークホルダーの皆さまには、本レポートを通じて、当社グループについてご理解を深めていただくとともに、今後の活動に向け、皆さまからの忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いです。

2019年5月

*レスポンシブル・ケア活動：化学工業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費、リサイクルを経て廃棄に至るすべての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動を展開しています。この活動を「レスポンシブル・ケア (Responsible Care) 活動」と呼んでいます。本レポートでは、「レスポンシブル・ケア」を略して、「RC」と表記することもあります。

■企業理念

「社会貢献」「環境」「技術」を経営のキーワードとし、全ての人々の幸せのため、食糧の安定供給に寄与する安全で安心な農業製品および産業活動を幅広く支えるファインケミカル製品を社会に提供していきます。

■経営の基本方針

『企業理念』の実現に向け、立案した事業計画を着実に実行することにより、持続的かつ安定的な成長を実現し、国内外の産業の発展と豊かな社会づくりに貢献します。また、取締役会を中心とした経営の自己規律のもと、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、社会に信頼される企業であり続けます。